

# 白川郷の合掌造り



**第19号**  
平成29年3月31日

発行 (-) 世界遺産白川郷合掌造り保存財団  
岐阜県大野郡白川村荻町  
2495番地の3

二〇一六年の訪日外国人客

は、前年比二二・七%増の二四

〇三万九〇〇〇人

となり、四年連続

で過去最高を記録

しています。また、

日本政府は、東京

オリンピック・パラ

リンピックが開催

される二〇二〇年

に訪日外国人客を

四〇〇〇万人にす

る目標を掲げてお

り、目標達成に向

けた政策を順次展

開しているところ

です。

こうした国の情

勢は白川村にも波

及しており、二〇一六年に本

村へ来訪した外国人観光客数

は、五六万一〇〇〇人と過去

最高を記録しました。(本村

の外国人観光客数の集計は、

これまで「せせらぎ公園駐車

場」における観光バス

からヒアリン

グ調査したも

のでしたが、

今回からさらに

レンタカーと定

期・路線バスを

合算することに

改めました。)

近年の訪日

外国人客の大

半は東京、富士

山、京都、大阪

など、いわゆる

ゴールデンル

ーに一極集中し

ていますが、今

後は全国各地への分散

や拡散が進む中で、本

村においてもさらに増

加することが予想され

## 外国人旅行客の受け入れ

白川村観光振興課 主査 尾崎 達也

### 交通対策



ます。

そうした状況下において、

私は昨春から村の観光振興課

を拝命し、また地域では、「白川郷荻町集落の自然環境を守る会」事務局として「保存」と「観光」の共存共栄に奮闘しているところがございますが、まず初めに取り組んだことは、荻町交通対策でございます。

近年、特にアジア圏のFIT (Foreign Independent Tour 海外個人旅行)が増

加傾向で、これに伴

うレンタカーが観光

車両乗入制限をして

いる集落内を走行す

るという現象が起き

たため、ピクトグラ

ム(視覚的な図で表

す技法)を用いた多

言語看板を要所に設

置しました。これま

での日本語看板を、

ピクトグラムを用い

たシンプルな多言語

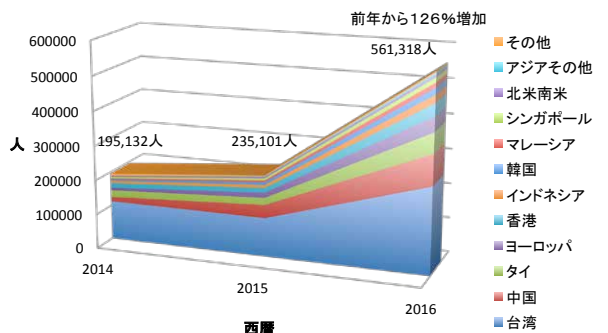
看板に移行すること

で、外国人の誰が見

ても分かりやすく、

そして景観に配慮し

訪日外国人観光客入込みの推移



た案内標識が出来ました。

また、近年急増する観光客

の受け入れ対策として、文化

や習慣の違いから起こる外国

人観光客との隔たりの解消を

図るため、白川郷観光協会青

年部と合掌民宿の若女将とと

もに、マナーの啓発に親しみ

が持てるよう、全十話に渡る

四コマ漫画を作成しました。

この四コマ漫画は、インター

ネットを介して多くの外国人

観光客に周知出来るよう、白

川村観光情報英語版ホーム

ページに掲載した他、来訪時

にスマートフォンで村内公衆

無線LAN(SHIRAKAWA-GO

WiFi)によるインターネット接続サービスを利用の際に、最初にこの四コマ漫画が閲覧出来るよう進めました。

その他、飛騨三市一村による広域連携では、飛騨地域国際観光振興特区通訳案内士養成講座を開設して、高山市、飛騨市、下呂市、白川村の全域内で報酬を得た通訳案内が出来ると制度を設けました。本村においては、一名の方が試験に合格し本資格を取得されるところです。

平成二十七年、国が地方創生を推進する中で、当時私は村の企画担当として、まち・ひと・しごと創生「白川村総合戦略」という村の将来計画策定に

携わりました。この計画の中の人口ビジョンでは、村の人口は二〇四〇年(平成五十二年)には約千四百人にまで減少し、人口構造も今後ますます、少子高齢化が進んでいくと予想されています。村の基幹産業である観光産業も、こうした将来人口ビジョンを見据えながら、量から質にシフトする観光の変革期に差し掛かっているのではないかと考えています。そして、村づくりにおいては、村民一人ひとりが村のことを考え、参画することが、白川村創生の大きな原動力となりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

ただ... あの... 急いでんだけど〜! ...歩行者天国ではないんです。生活車両は通るのです... 歩行者天国状態になった道で軽トラが進めなくて困っている

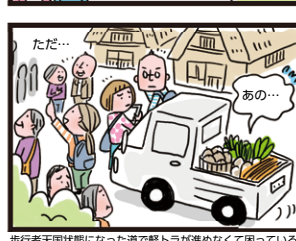
ただ... あの... 急いでんだけど〜! ...歩行者天国ではないんです。生活車両は通るのです... 歩行者天国状態になった道で軽トラが進めなくて困っている

【四コマ漫画】花火は禁止です



花火をする親子のそばで「火の用心!」の声を大きくしていき巡視の村人。花火をやめる旅行者。世界遺産白川郷合掌造り集落は花火禁止です!

【四コマ漫画】歩行者天国!?



歩行者天国状態になった道で軽トラが進めなくて困っている

財団が管理する村営駐車場  
平成二十八年度の入込み

バスの季節毎による入込の状況は、ここ数年ですっかり様変わりしました。かつてはバスが大挙押し寄せる季節といえば、紅葉の時期というのが定番でした。この時期は現在も入場数は多いのですが、ここ数年大きな変動はなく似たような値をキープしています。現在この時期以上にバスが入場する季節といえば、春、四月の時期です。入場するバスの大半は外国人で占められており、ほとんどすべてが立山黒部アルペンルート 雪の大谷ウォークに参加するツアーです。昇龍道戦略を初めとした、国を挙げての外国人招致効果が実を結んだ結果でしょうか。このように外国人旅行者によって観光動向に影響を及ぼす例が近年多く見られます。

今年度十月、旧白川診療所跡地に白川郷バスターミナルがオープンしました。これにより今までせせらぎ駐車場に乗り入れていた各路線バスの発着所はすべて移動しました。個人で訪れる外国人観光客の多くがこの路線バスを利用してきますので、バス待ちの滞留客は一気に姿を消しました。ただ、観光バスから降りてくる乗客の多くが外国人であり、また近年レンタカーで入村する外国人客も年々増えていますので、相変わらず駐車場周辺は海外のようです。

レンタカー利用者がすべて外国人ではありませんが、せせらぎ駐車場普通車の約二割を占めています。心配なことは入込台数の増加に対し、レンタカー増加比率が上回っているという事です。外国人旅行者が急増する一方で、日本人観光客は減少しているということになります。このまま外国人旅行者に来村頂ければ良いのですが、もし流れが変わったとき、爆買い以降のデパートのように、淋しい光景が広がるのではないかと、一抹の不安があります。

せせらぎ駐車場は年中無休で運用を行い、一年の約六割の期間はこの駐車場だけを稼働しています。今年度の普通車入場数は昨年度より約四千台増え、十三万七千台(前年比一〇三%)となり過去最高を更新しました。月別にみると、四月、六月、七月といった従来落ち着いた入込だった時期の増加が顕著です。みだしま・寺尾を含めた三駐車場の普通車総合台数は十九万三千台、昨年比二千台増となりました。バス台数についても冒頭でお伝えしたとおり外国人ツアー客の増加によって、東日本大震災で落ち込んで以来、徐々に入場台数を戻しながら今年度久しぶりに過去最高値を更新しました。

平成二十九年四月よりせせらぎ駐車場普通車料金を倍の千円に値上げさせていただきます。運用開始以来二十年が経過し大がかりな補修が必要となつていきます。多言語対応の案内、渋滞を発生させない駐車場間の車両誘導の徹底等、お客様にとっても住民の皆様にとっても、一層のサービス向上に努めさせていただきます。

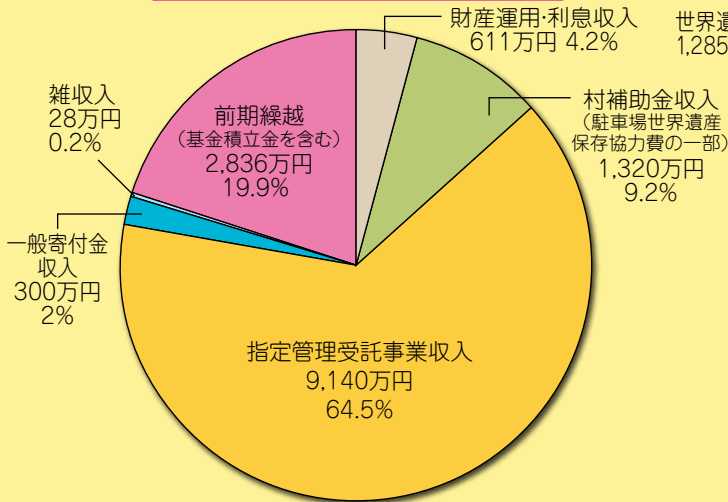
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

平成28年度

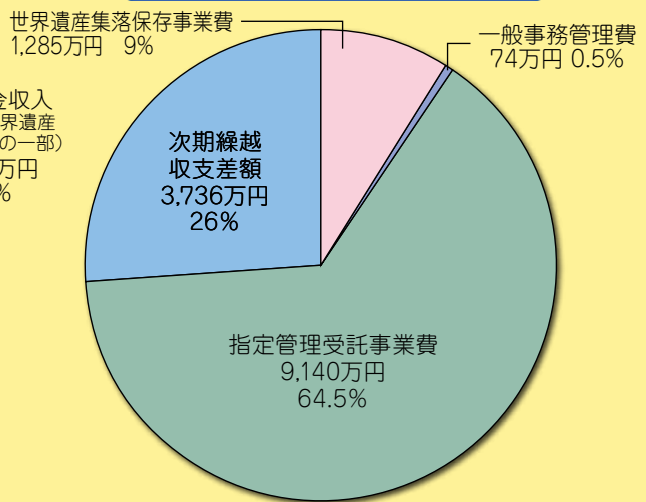
# 会計のあらまし

財団が、どのような収入を得て、どのように支出しているのか、平成28年度の会計状況をお伝えします。

**歳入 1億4,235万円**



**歳出 1億4,235万円**



## 平成28年度の主な事業

<b>1. 修理事業</b>	<b>4,754,000円</b>
差し茅	3棟 68,000円
伝統的建造物修理	3棟 1,089,000円
棟茅葺替	86/108棟 3,597,000円
トタン屋根葺替	0円
<b>2. 修景事業</b>	<b>807,750円</b>
修景協力費助成	3棟 358,000円
トタン屋根葺替	0円
ビニールシート指定色奨励事業	34枚 205,090円
一般建築物茅屋根補修	3棟 94,000円
オダレ助成	37枚 150,660円
<b>3. 地域活性化事業</b>	<b>2,493,954円</b>
自治保存会活動費助成	1,000,000円
自治保存会育成事業	647,872円
人材育成事業	846,082円
<b>4. 水田復旧事業</b>	<b>2,329,760円</b>
復旧農地の維持管理・活用	水田63.10a, 畑0.7a 2,329,760円
<b>合計</b>	<b>10,385,464円</b>

## 財源内訳

村補助金	10,000,000円
基金運用利息	385,464円
<b>合計</b>	<b>10,385,464円</b>

財団は世界遺産集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の受託費で賄われています。設立当初よりせせらぎ公園駐車場と付随する総合案内所の管理運営業務を行い、現在は寺尾・弥陀島臨時駐車場を含め繁盛期の渋滞緩和にも努めています。

駐車場で徴収された駐車料金は村に収納され、駐車場や施設の維持管理費に当てられ、一部は管理受託費として財団の歳入となります。また、世界遺産地区の修理・修景助成、地域振興策等にも使われ、事業計画に応じ村から補助金として入ります。

平成28年度のせせらぎ公園小呂駐車場の総収入は、13,768万円(前年比425万円増)となりました。受託事業費として9,200万円、集落整備事業及び運営費補助金として1,320万円を村からの収入とし事業を行いました。

基金は約6億7,330万円、平成28年度は611万円の財産運用利息収入となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

## 財団が保持している基金の現在額(平成29年3月)

基本財産	302,361,000円
運用財産	370,943,298円
<b>合計</b>	<b>673,304,298円</b>

平成28年度 | 自治保存会育成事業

京都府京都市  
兵庫県姫路市・  
神戸市 視察研修



平成二十八年度の自治保存会育成事業は、七月六日～七日の日程で京都府京都市と兵庫県姫路市・神戸市へ視察研修に行きました。参加者は事務局を含め十八名、観光業に関わる女性の方々が多くご参加下さいました。

一日目には京都市役所の京都市産業観光局観光MICE推進室へ視察研修を行いました。

京都市産業観光局観光MICE推進室では、観光資源の保護・整備、



▲姫路城

観光振興対策、身近なところでは外国人観光客へのマナー啓発、リーフレットの作成、トイレの使用方法に関する啓発ステッカーの作成など、当村でも急増する外国人観光客受け入れ対策にも取り組んでいます。

二日目には昨年三月に平成の大修理を終えた国宝・世界遺産「姫路城」及び神戸市の重要伝統的建造物群保存地区「神戸市北野町山本通」を視察し、保存の取り組みなどを学びました。姫路城では二組に分かれて「姫路城シルバー観光ガイド」の方に見どころや謎、時にはクイズなどで城内を案内して頂きました。



▲シルバーによる有料ガイド



▲右：京都ノトリセツ

神戸市北野町では保存会会長森田さんより伝建地区の歴史的背景と現状を、神戸市教育委員会豊島さんより守るための住民組織づくりへの苦労や、次世代へつなぐための歴史アーカイブなどのお話をして頂きました。研修の報告は、守る会（和田会長）で取りまとめたいただいた参加者の感想を掲載させていただきます。



▲教育委員会豊島さんよりお話を



▲京都市役所にて勉強会



▲京都市役所

### ◎京都市産業観光局

● 白川郷と京都。規模の差はあっても、外国人対応、ゴミ問題、交通対策等悩みの部分は共通していることを実感した。

● 昭和三十一年制定の京都市住民憲章に「旅行者をあたたくかむかえましよう」の文言があり、荻町も原点に戻り「おもてなしの心」を京都に学ぶべきであると感した。

● 現在の京都市観光復興計画が目指す姿は「世界があこがれる観光都市へ」。志高く旅行者と住人が快適に過ごせる環境をつくろうとされている姿に共感した。

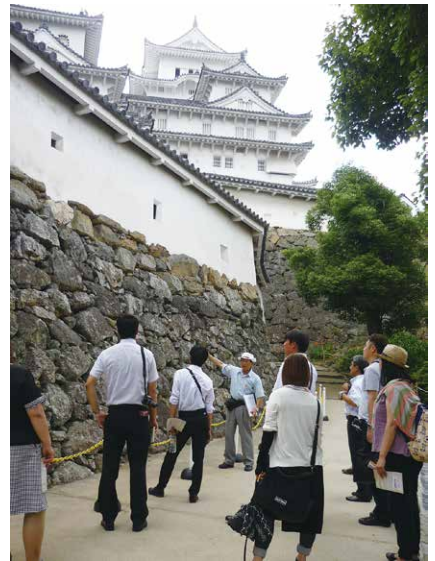
● 外国人観光客へのマナー啓発の取り組みとして、「京都のトリセツ」や外国人留学生の目線で作成したマナーパンフレットの開発、多言語表示ではなく図案によるサイン看板の設置、WebやSNSによる拡散、フリーペーパーの活用等、多くのヒントをいただいた。

● 現在白川村で活用中のトイレの外国人向け使用案内の図案。京都市さんが他のデザインを含め、必要な観光地に無償提供下さっていることに感謝。



▲洋風異人館の町並み

● シルバーによる有料ガイドの知識の深さや話し上手に感激。白川村はもっと案内人を増やす必要があると感じた。地元の人とのふれ



### ◎世界遺産姫路城

● シルバーによる有料ガイドをつけて見学したが、小ネタと専門的な話を交えながら、姫路城を堪能。修復した白漆喰は年々くすぶりを増すので、この白く輝くお城は今しか見ることが出来ない貴重な景観とのことであった。

▲姫路城について語るガイドさん

あいが大事。話を聞きながら回ることで、よさが二倍にも三倍にも感した。

● 外国人観光客向けのガイドさんを何組か見かけました。白川村では合掌造りや文化などについて深く理解して帰られる外国人個人客はいないのでないか。国内外のお客様に村の本当の魅力を知ってもらおう受け皿

はまだ整っていないことを感じました。語学を生かせる職場が増えることは、Uターナーの受け皿にもなりそう。

● 毎月十日に地域住民や学校が参加した清掃活動を実施しているとの事。多くの支えがあつて今があることを痛感。

### ◎北野町山本通伝建地区

● 伝建地区の活用として、良好な住宅地としての活用に触れることが出来た。洋館のペンキが十年で塗り替えを必要とするご苦労に驚いた。それでも文化財を守り住むことを後継者につなぐ努力という課題を共有できた。

● 歴史アーカイブの話から、次代を担う子供達への「郷土を知り郷土から学ぶ学習」の重要性を感じた。

● 風見鶏の館の館長さんの説明は分かりやすく、ガイドはやっぱり重要だ

と感した。  
● 伝統的建造物に認定されていても、維持や財源確保が難しくて所有者個人の負担が大きい限りは、今ある姿を残し続けることは厳しいのだと実感しました。



▲風見鶏の館 館内



▲風見鶏の館 館長さんよりお話を

## 田植え体験

6月3日、白川小学校5年生と本巣郡北方南小学校5年生の交流学习があり、休耕田にて田植え体験を行いました。



## 荻町集落の景観保全

～水田復旧事業～

### さつまいも畑

白川小学校2年生と一緒にさつまいも掘りを行いました。6月には苗植えも行っています。この畑は集落内の景観保全を目的に休耕田を利用して作っています。児童は職員から景観を守る大切さを学んだあと、一斉にさつまいも掘りを行いました。



### かぼちゃ畑

今年初めてすくなかぼちゃを植えました。収穫までの管理を渡辺さんが見てくださり、たくさんのすくなかぼちゃが採れました。収穫できたすくなかぼちゃを給食センターへおすそわけし、9月の学校給食に出していただきました。



2月には2年生のさつまいもパーティーに招待していただき、子供達と一緒にゲームをしたり、さつまいもで作ったお菓子をおいしくいただきました。



### 水田協力隊

今年も財団の田植えや稲刈りを手伝ってくれた小学生・中学生の皆さんありがとうございました。

財団が所有する休耕田は機械が入らない所が多くとても大変ですが、職員と一緒に頑張ってくれた皆さんのおかげでとても助かりました。これからも水田協力隊としてお手伝いをよろしく願います。



**昔ながらの景色を  
子供たちに残せるよう、  
今後も景観保全に  
取り組んでいきます！**

## 人材育成事業

### 田づくり

財団では人材育成事業の一つとして、白川小学校の田づくりに関わる肥料や苗の他、畑づくりやプランター栽培に必要な種や苗などの助成を行っています。

今年度の5年生の田づくりでは、田植え・脱穀の指導をしながら子供達と一緒に作業を行いました。稲刈りについては、天候不順が続き子供達と一緒に作業することが出来ませんでした。急ぎよ集まってくださった方々と一緒に作業しました。



今後も次世代の  
遺産保存のための  
人づくりにつながるよう、  
積極的に教育活動を  
行います！

財団では世界遺産の景観保全を目的に休耕田の復旧や維持管理を行っています。

今年度も収穫したお米の一部を皆さんに味わって頂きたいと各代表へ手渡しました。



今年度も集落内で作った新米を  
「瀬音さくら山荘・しゃくなげ荘」  
「村学校給食センター」  
へ寄贈しました。



# ありがとうございます

## 募金ご協力者一覧 (敬称略)

### 竹筒募金

平成28年度

- 埼玉県 細谷 恵子
- 東京都 リウ・ミセキ
- 長野県 丸山 初子
- 神奈川県 古谷 義幸
- 愛知県 森 顕敏
  - 〃 KDDI(株) 渡辺 道治
  - 〃 大森 國雄
  - 〃 北條 正典(平和荘)
- 岐阜県 (有)高山観光写真サービス
  - 〃 (株)三輪酒造 三輪 研二
- 白川村 白川中学校生徒会 (茅刈り活動)
  - 〃 (有)ひだ白川郷かたりべ
  - 〃 田口屋製菓
  - 〃 白川郷萩町集落の自然環境を守る会
- 滋賀県 (株)文教スタジオ 代表取締役 一円 泰成
- 和歌山県 石田 真紀
- 鹿児島県 中村 厚仁

- 国重文 和田家
- ふる郷 長瀬家
- 神田家
- 明善寺
- 合掌造り民家園
- 焰仁美術館
- 鳩谷郵便局
- であいの館
- 白川郷の湯
- 城山館
- 民宿 十右エ門
- 民宿 志みづ
- 民宿 のだにや
- 民宿 久松
- 民宿 きどや
- 民宿 幸エ門
- 民宿 与四郎
- 民宿 利兵衛
- 民宿 一茶
- 民宿 かんじゃ
- 民宿 孫右エ門

- 民宿 源作
- 民宿 よきち
- 民宿 わだや
- 民宿 伊三郎
- 民宿 大田屋

- お食事処 忠兵衛
- 基太の庄
- 白楽
- 文化喫茶 郷愁
- 喫茶 狩人
- 食事喫茶 今昔
- ちとせ
- いっぷく ちな
- 山本屋
- 飛驒路
- 手打ちそば処 乃むら
- しらおぎ
- いさなみ
- たなか屋
- 味処 ゆきんこ
- 与ぜ
- 白水園
- いろり
- 喫茶 さとう
- 天守閣
- コーヒー 鄙

- あらい食堂
- ます園 文助
- 合掌森崎
- 盛善
- 元気な野菜館
- 恵びず屋
- おいしんぼ
- おけさ
- 合掌庵
- しゃくなげ
- 佐藤民芸品店
- 今藤商店
- こびき屋
- めめんこ
- 道の駅白川郷

現在店舗に合掌基金募金箱の設置がなく、設置希望の方や、募金箱の破損などありましたら財団までご連絡ください。



# 世界遺産白川郷合掌集落保存基金にご理解とご協力を

合掌財団では世界遺産集落の景観保護を行うため、合掌造り家屋の修理に対する助成や合掌造りを取り巻く全ての建物が農村風景に影響を与えないような修景に対する助成等を中心に、集落に暮らす住民の生活により密着した事業展開を心がけております。

それらの経費を賄うには、合掌財団のわずかな基本財産の運用益だけでははるかに及ばないのが現状です。現在はそれを補う窮余の策として岐阜

県の助成を得て、白川村が緊縮財政の中から捻出しています。今後の社会情勢の変化に伴い、合掌財団に対して要請される事業がますます多様化していくものと予想されます。合掌財団がこのような課題にできるだけすみやかに、的確に対処していくためには基本財産をより充実させ、運用できる果実をもっともっと増やさなくてはなりません。どうか合掌財団の趣旨にご賛同くださり、皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いします。

基金に対するご寄付お送り先及び資料請求先

### 振替による場合

- ・郵便振替口座 00810-6-51954
- ・飛驒農業協同組合白川支店(普) 9203800

### 現金書留による場合及び資料請求先

〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3  
 (-財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団  
 TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113  
 ☆インターネットでも受け付けています。  
<http://shirakawa-go.org/kikin.html>



フ募集中でお気軽にお電話下さい!!

イナワケの合掌造り家屋の修理に対する助成や合掌造りを取り巻く全ての建物が農村風景に影響を与えないような修景に対する助成等を中心に、集落に暮らす住民の生活により密着した事業展開を心がけております。

それらの経費を賄うには、合掌財団のわずかな基本財産の運用益だけでははるかに及ばないのが現状です。現在はそれを補う窮余の策として岐阜

県の助成を得て、白川村が緊縮財政の中から捻出しています。今後の社会情勢の変化に伴い、合掌財団に対して要請される事業がますます多様化していくものと予想されます。合掌財団がこのような課題にできるだけすみやかに、的確に対処していくためには基本財産をより充実させ、運用できる果実をもっともっと増やさなくてはなりません。どうか合掌財団の趣旨にご賛同くださり、皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いします。



編集後記